

2025年度(令和7年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	70.2	19.1	6.4	4.3
女子	65.8	18.4	10.5	5.3

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	68.1	27.7	4.3	0.0
女子	65.8	28.9	5.3	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	53.2	29.8	10.6	6.4
女子	47.4	34.2	13.2	5.3

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	14.45	20.56	33.86	38.95	50.02	9.45	152.34	21.11	53.05	女子	14.69	19.44	35.76	38.83	37.64	9.93	144.68	12.66	52.85

県平均値かつ全国平均値未滿

重点課題および要因
情意面

・「運動やスポーツをすることは好き」と回答する児童の割合は広島県・全国平均より高く、加えて「保健・体育の授業は楽しくない」と回答する児童が少ないことから、意欲的に取り組もうという気持ちを持ち、積極的に取り組んでいることが分かる。しかし、結果として体力の向上にはつながっていないことも分かった。

体力面

・「週に3日以上運動やスポーツをしている」と回答する児童の割合が昨年と比べると約10%も低下している。そのため筋力や俊敏性を高める取組や場の設定が不十分で、日々の授業で培ったことを生かして取り組むことができていないと考える。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・準備運動の際に、柔軟性や俊敏性を培うために鬼ごっこや二人一組になって柔軟体操などのペアになって取り組む活動を取り入れる。また、運動量を確保するためにも、会場準備や準備物を準備した状態で授業ができるように、学年や学級の授業する際は同じ単元で授業を進めて行くこと取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

・児童会、体育委員会といった委員会活動や各学級の係活動を中心に休憩時間を使って筋力や俊敏性を養う活動を行う。また、筋力や俊敏性を高める運動を全校生徒に発信していく活動を行う。

2026年度(R8年度)の
重点目標値

・昨年に引き続き敏捷性を上げる活動を行い、反復横跳びの体力得点を県平均・全国平均よりも上回る数値をとることができるようにする。